

LifeKeeper for Windows v8.4.0 DataKeeper for Windows v8.4.0 Technical Update Information

第 1 版

目次

1	本ドキュメントの目的.....	4
2	このドキュメントのサポート範囲.....	4
3	LifeKeeper for Windows v8.4.0.....	5
	[サポートされる OS・環境等についての追加・変更].....	5
4	DataKeeper for Windows v8.4.0.....	6
	[サポートされる OS・環境等についての追加・変更].....	6
	[追加された新機能、主な変更・修正点].....	6
5	お問い合わせ.....	7
6	免責事項.....	8

改版履歴

日付	版数	更新内容
2016/10/3	第 1 版	新規作成

1 本ドキュメントの目的

本ドキュメントでは、2016年10月3日にリリースした LifeKeeper for Windows v8.4.0 および DataKeeper for Windows v8.4.0 のアップデートに関する機能の追加や変更点をまとめています。ユーザーやパートナーの皆様が製品のアップデートや製品インストールを検討する際の判断材料として本ドキュメントを参照いただくことを目的としております。本ドキュメントに記載されていないその他の修正情報などにつきましては、リリースノートの内容をご確認ください。LifeKeeper、DataKeeper の各種ドキュメントは以下の URL から参照することができます。

テクニカルドキュメンテーション（日本語）

<http://jpdocs.us.sios.com/>

2 このドキュメントのサポート範囲

本ドキュメントは、日本国内向けに出荷された LifeKeeper for Windows v8.4.0 および DataKeeper for Windows v8.4.0 にのみ有効です。製品に関する詳細情報は、米国の SIOS Technology Corp より提供されている各種技術ドキュメント (Release Notes、Technical Documentation) をご参照ください。

3 LifeKeeper for Windows v8.4.0

[追加された新機能、主な変更・修正点]

LifeKeeper に特化して追加された新機能はありません。

変更・修正点の一覧については、リリースノートをご確認ください

4 DataKeeper for Windows v8.4.0

[追加された新機能、主な変更・修正点]

- 特定の条件でシステム再起動を行った場合に全同期となる挙動が改善されました。DataKeeper ミラーを Pause ステータスのままターゲットの再起動を行った場合、従来の製品仕様では全同期を必要としましたが、差分同期だけでレプリケーションを再開することができるようになりました。
- DataKeeper Cluster Edition に監視機能が追加されました。Microsoft 社のクラスターサービス (MSFC、WSFC) で実施されるリソースの監視機構となる LooksAlive/IsAlive に対応しました。
- 修正可能なレジストリエントリに新しいパラメーターが追加されました。WriteQueueLowWater の代わりに ResyncReads というパラメーターが追加されました。詳細についてはドキュメントサイトの情報をご確認ください。

その他の修正情報については、リリースノートの内容をご確認ください。

5 お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容についてのお問い合わせ先

- **LifeKeeper 製品の導入を検討中のお客様**

弊社パートナー営業部までお問い合わせください。

お問い合わせメールフォーム

<https://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

- **LifeKeeper 製品をご購入済みのお客様**

弊社 LifeKeeper 製品サポート窓口までお問い合わせください。

購入後のお問い合わせ

https://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/support_lk.html

6 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証もするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に生じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

【著作権】

本書に記載されているコンテンツ（情報・資料・画像等種類を問わず）に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。

本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。

サイオステクノロジー株式会社

〒106-0047 東京都港区南麻布 2-12-3 サイオスビル
<http://www.sios.com>